

-----2月18日-----

※ 今週のアウトlook (2/18~2/23)

先週はG20を前に、ドイツからの牽制発言が入り、一時的に円高が進みました。
その後も利益確定売りが多い中、綱引き状態となりもみ合いに終始する一週間となりました。
今週はG20で特に円安牽制発言などが出なかったことから、円安再開が濃厚です。
ただ、節目節目では利益確定売りが出やすい状況には変わりはなく注意が必要です。

ドル円は先週、94円中盤の高値更新の後、週末には92円付近までの調整が入りましたが、
欧州市場では持ち直し、93円台中盤でNY市場は終了しました。

G20前の調整からの反動で、円安圧力が週初に強くなることが予想されますが、
節目となる95円を超えられるか、また超えた場合に、そのあとの要人の発言や、市場関係者
などのコメントなどに左右されずに、100円を目指す状況になるか否かが注目されます。

ドル円の予想レンジは93円から101円です。

ユーロ円もG20前の調整からの反動で、週初は円安圧力が強くなることが予想されます。
ただ、ユーロドルが1.33付近をサポートラインとしてこのまま巻き返しできるのか、
ドイツなどから、ユーロ高に対する更なる牽制発言はあるのか、
このあたりに注目が集まるように思います。
ドル円よりユーロ円の方が、大量の利益確定売りが出やすくなるかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは121円から131円です。

GBPUSDの1.565を割って週末を迎えています。
週初に、G20後の調整戻しから、このまま反転できるのか、それとも1.52付近まで
下落してしまうのか、注目が集まるころだと思います。

今週のポンド円は乱高下の可能性もあるように思います。

ポンド円の予想レンジは140円から150円です。

今週は円安圧力が強まる中、各通貨ペアの節目となるポイントで、
利益確定売りが多く出ることも予想されます。

レバレッジ調整には十分注意したいところです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。

